

100年の歴史あるモーターレース サイドカー部門に唯一の日本人チームが参戦

渡辺正人さん（熊谷市）

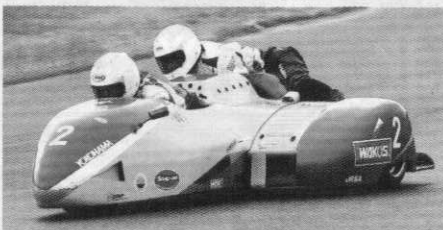


今年5月下旬からマン島（自治権を持った英王領）で、公道使用のモーターレースでは世界最大の「マン島TTレース」が開催される。今年100周年を迎えるこの歴史ある大会のサイドカー部門に、熊谷市在住の渡辺正人さんがドライバークラッシュする。渡辺さんがサイドカーレースを始めたのは8年前。通常のバイクレースと違い、サイドカーレース

今年5月下旬からマン島（自治権を持った英王領）で、公道使用のモーターレースでは世界最大の「マン島TTレース」が開催される。今年100周年を迎えるこの歴史ある大会のサイドカー部門に、熊谷市在住の渡辺正人さんがドライバークラッシュする。渡辺さんがサイドカーレースを始めたのは8年前。通常のバイクレースと違い、サイドカーレース

ス最大の
特徴は、
パッセン
ジャーと
呼ばれる
同乗者が
いること
だ。この
パッセン
ジャーが

勝へ進む。予選通過には未体験の1周60kmの公道を、平均時速140〜150km以上が必要だという。毎年、完走すらままならないチームが続出する大会。それでも「予選通過と決勝を完走すること。なにより無事帰国すること」を目標に据えている。大会までは3ヶ月あるが、今から待ちきれない思いを強く感じた。



昨年の国内レース出場の様子